# 『みんなが集（つど）う　みんなで育（はぐく）む

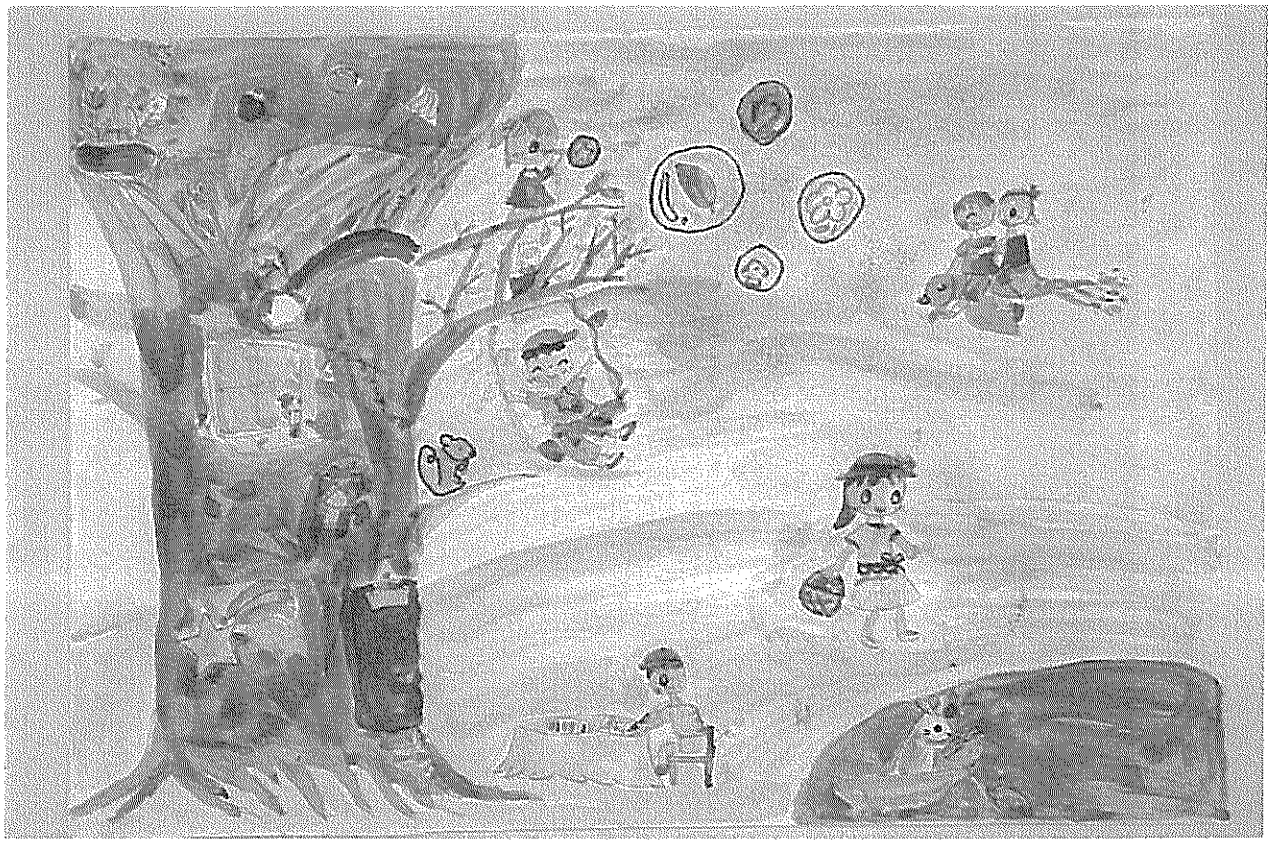
# みんなに優（やさ）しい　みんなを結（むす）ぶ

# ちはやあかさか』

～夢を持って子育てができる　金剛山（こごせ）のむら～

## 第４次千早赤阪村総合計画　第４期実行計画

## （平成 26 年度～28 年度）



平成２６年４月

千　早　赤　阪　村

# 目　次

第１章　実行計画の概要

１　計画の性格……1

２　実行計画の構成……1

３　計画の計画期間及び見直し……1

４　計画の基本方針……2

５　実行計画事業の選定基準……2

第２章　重点施策（プロジェクト事業）……4

第３章　分野別事業計画

１　事業計画の見方……8

２　むらづくり施策体系及び事業計画……9

基本柱１　安全・安心・環境……１０

基本柱２　健康・福祉……１７

基本柱３　教育・歴史・伝統……２４

基本柱４　観光・産業・地域振興……２８

基本柱５　建設・交通……３６

基本柱６　協働・行政経営……４０

３　実行計画事業費（計画額）一覧……４５

第４章　計画の進行管理……４６

# 第１章　実行計画の概要

## １．計画の性格

○実行計画は、第４次千早赤阪村総合計画（以下「第４次総合計画」という。）の基本構想に掲げる将来像「みんなが集う、みんなで育む、みんなに優しい、みんなを結ぶ　―ちはやあかさか　～夢を持って子育てができる　金剛山のむら～」を実現するため、基本構想に定める基本柱をどのように実施していくのかを具体的に示すもので、毎年度の予算編成や当面の行政経営の指針となるものです。

○第４次総合計画は、厳しい行財政運営の中、限られた財源をいかに有効活用するのかに重点をおき、「あれもこれも」という総花的な事業展開ではなく、「選択と集中」を基本に策定したものであるため、将来像の実現に向けた具体策を示す実行計画においても、あたり前の事業などは掲載せず、真に必要で重点的、かつ優先的に事業展開すべき事業を中心に示します。

## ２．実行計画の構成

○実行計画は『重点施策（プロジェクト事業)』及び『分野別事業計画』で構成します。

「重点施策（プロジェクト事業)」

・重点施策（プロジェクト事業）は、基本構想に示した３つのプロジェクトに基づき、計画期間内において先導的かつ戦略的に実施する事業の集合体として位置づけたもので、各プロジェクトを特に推進する事業として分野別事業計画から抜き出し、プロジェクトごとに取りまとめたものです。

「分野別事業計画」

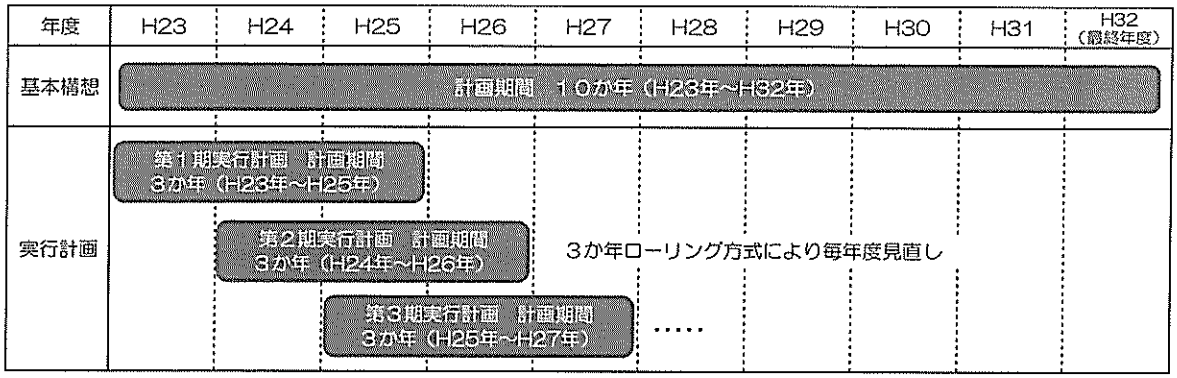
・分野別事業計画は、むらづくり施策体系に基づき、計画期間内において取り組む施策や事業の概要等を示したものです。

## ３．計画の期間及び見直し

○第４期実行計画の期間は、平成２６年度から平成２８年度までの３カ年とします。

○実行計画は毎年度ローリング方式（※１）により見直し、計画期間終了後、社会情勢等の変化に対応して次期実行計画を策定します。なお、重点施策（プロジェクト事業）は、テーマ解決のための先導的かつ戦略的な事業の集合体であり、継続的な取り組みが必要であることから、継続性等に留意し、適宜見直します。

○実行計画に位置付けられた事業であっても、計画に記載された計画年次及び年度事業費を担保するものではなく、予算編成作業により事業費（計画年次）は増減（変更）するものです。




※１　「ローリング方式」とは、総合計画など長期の事業計画の実施過程で、計画と実績を毎年チェックし、計画的な目標達成を図る方式。

## ４．計画の基本方針

○実行計画に掲げられた事業を進めるにあたっては、財源の確保に最大限努めるとともに、行政評価の考えを取り入れ、効果的・効率的に事業を進めます。

○それぞれの事業の実施にあたっては、基本構想に定める「むらづくりの姿勢」をもとに取り組みます。

≪むらづくりの姿勢≫

◆村民等と行政の役割の明確化による協働型社会の構築

◆行財政改革の推進

◆開かれた行政経営

◆広域行政の推進

## ５．実行計画事業の選定基準等

○実行計画は、事務事業の中から「実行計画事業」を選定し、それらを中心に構成します。

（１）事業費の仕分け

すべての事業費を下記のとおり、「義務的経費」、「その他の経常的経費」、「実行計画事業費」に仕分けします。なお、債務保証等を設定する事業は実行計画事業費に含めます。

①義務的経費

・公債費

・扶助費（国府補助事業及び法等の定めにより村の裁量が及ばない事業）

・人件費

・継続費、債務負担行為等

・選挙費

・統計調査費

・繰出基準に基づく他会計繰出金

・特別会計における保険給付費、繰出金
・基金への積立金、出資金等

②その他の経常的経費
・施設の維持管理費
・施設改良以外の施設維持補修費
・村有財産の維持管理費
・補助金のうち経常的なもの
・広域行政経費のうち経常的なもの
・関係機関、団体への負担金のうち経常的なもの
・各種団体や委員会の運営等に係る経常的なもの
・交付金のうち経常的なもの
・上記以外の経常的経費（一般事務経費で事務に要する需用費や旅費等）

③実行計画事業費
・①②を除くもの（政策的経費、投資的経費（普通建設事業費を含む）、臨時的に要する経費等）

（２）実行計画事業選定基準（新規事業、拡充事業、政策的継続事業）

【選定基準】

ア　総合計画との整合
　基本構想及び施策の方向と基本的内容の達成に寄与する事業であること。

イ　達成に係る数値目標
　事業達成に係る数値目標を持つ事業であること。

ウ　個性豊かなむらづくりに寄与する事業
　限られた財源の中で、個性豊かなむらづくりに寄与する事業を優先すること。

エ　社会コストの低減に寄与する事業
　例えば、健康診断の普及による医療費の抑制等、事業の実施により、社会コストの低減に繋がる事業等を優先すること。

オ　歳入の増加に寄与する事業
　村税収入等、歳入の増加に寄与する事業

カ　継続的な事業のうち、政策的観点から実行計画事業とする事業

# 第２章　重点施策（プロジェクト事業）

## １．重点施策（プロジェクト事業）

○「重点施策（プロジェクト事業）」とは、通常の事務事業や施策の垣根を越えた横断的なプロジェクトを組織し、一つのまとまりある事業として、先導的・優先的に推進していくものとして位置付けます。

○基本構想に基づき、最重点目標として『人口の維持』、『地域の活性化』を掲げそれらの目標を達成するための事業展開を進めます。

### ≪基本構想における重点施策の展開≫

**最重点目標『人口の維持・地域の活性化』**

**重点施策『次世代育成プロジェクト』～子育て対策～**

持続的かつ発展的な繁栄を実現するため、これからの本村を担っていく子どもたちが元気に育っていく環境整備をめざします。

【考えられる施策】
- 幼・小・中一貫教育の推進
- 子育て支援策の充実
- 食育の推進　など

**重点施策『住みたい"むら"プロジェクト』～住環境対策～**

人口減少に歯止めをかけ、誰もが住みたいと思える魅力ある生活環境の形成をめざします。

【考えられる施策】
- 地域活動への支援
- 雇用確保のための企業誘致
- 公共交通の検討
- 定住策の推進
- 地産地消の推進　など

**重点施策『交流人口増加プロジェクト』～活性化対策～**

にぎわいと活力を創出するため、自然資源と歴史資源を「観光資源」として活用させ、本村の魅力を最大限に引き出し、交流人口の増加をめざします。

【考えられる施策】
- 農業体験による交流
- 金剛山を拠点とした観光産業の展開
- 村民大学の開講
- 大都市圏からの観光客誘致　など

２．重点施策（プロジェクト事業）の概要（第４期実行計画）

## 重点施策『次世代育成プロジェクト』～子育て対策～

≪プロジェクト事業≫

| 事業名 | 主な概要 | 掲載ページ |
|---|---|---|
| 食育推進事業（継続） | 村特有の地産地消の確立、幼・小・中の一貫した教育等、健康・産業・教育・保育の各分野が相互に連携を図り村の特徴ある食育を推進 | P19 |
| 地域子育て支援拠点事業（継続） | 地域子育て支援拠点施設を新設し、子育て親子の交流の場の提供、子育て相談援助の実施、子育て講習等を実施 | P21 |
| スクールソーシャルワーカー活用事業（継続） | 専門的な知識・経験を有するスクールソーシャルワーカーを雇用し、要保護児童等に対して、関係機関と共に対象家庭の支援 | P22 |
| 子育て支援ヘルパー派遣事業（継続） | 養育支援が必要な家庭に対し家事援助等のヘルパーを派遣 | P22 |
| 子育て支援ショートステイ事業（継続） | 養育支援が一時的に困難になった場合に児童養護施設に一定期間、保護 | P23 |
| 子ども医療費助成事業（継続） | 中学校卒業までの医療費（入・通院）の自己負担の一部を助成 | P23 |
| 英語教育推進事業（継続） | 「読む」「書く」「聞く」「話す」をバランスよく育む授業への改善、家庭学習教材を開発し自学自習力を育成、英語検定３級相当の学力の確保 | P24 |
| 留学生交流事業（継続） | 小・中学校にある英語教室に外国人留学生を招き、英語ルームを設け、学校生活の中で話す英語をめざす | P25 |
| 海外留学体験事業（継続） | 中学生を対象に夏休みに海外ホームステイを体験することにより英語語学体験や国際感覚を養成 | P25 |
| 千早小吹台小学校耐震補強事業（継続） | 老朽化により耐震化が必要な学校施設を改修 | P26 |

## 重点施策『住みたいむらプロジェクト』～住環境対策～

≪プロジェクト事業≫

| 事業名 | 主な概要 | 掲載ページ |
|---|---|---|
| 防災拠点整備事業 | 防災本部の拠点となる役場庁舎建設のための基本計画を策定 | P10 |
| 防災対策事業 | 大阪府防災行政無線同報系および移動系の整備 | P11 |
| 建築物耐震化事業（継続） | 昭和５６年以前に建築された木造住宅の耐震診断及び改修費用の一部を助成 | P11 |
| 任意予防接種費用助成事業（継続） | 任意予防接種費用の助成 | P17 |
| 妊婦健康診査公費助成事業（継続） | 妊婦健康診査、乳幼児健康診査の費用の助成（個別医療機関委託分） | P18 |
| 食育推進事業（継続） | 再掲 | P19 |
| 村民大学事業（継続） | 生涯学習の機会を拡大するため村民大学を開設（講座） | P27 |
| 企業誘致事業（継続） | 大森地区における企業誘致など企業が進出しやすい環境を整備 | P34 |
| 消費者生活相談充実事業（継続） | 専門的知識を要する消費者相談を近隣市町と連携実施 | P35 |
| 買い物弱者対策と地域公共交通のあり方調査研究（継続） | 買い物弱者（高齢者等）への支援と地域公共交通との連携など、現状の把握や分析、今後の対応策を調査研究 | P38 |
| 定住促進に関する調査研究（継続） | 定住促進の有効な方策について調査研究 | P39 |
| 住民協働提案型むらづくり事業（継続） | 村民活動及びむらづくりの推進を図るため、村民団体が自主的、主体的に企画し、実施する公益性のあるむらづくり事業に対し一部補助金を交付 | P40 |

## 重点施策『交流人口増加プロジェクト』～活性化対策～

≪プロジェクト事業≫

| 事業名 | 主な概要 | 掲載ページ |
|---|---|---|
| 村民大学事業（継続） | 再掲 | P27 |
| 金剛山周辺活性化事業（継続） | 交流人口の増加を目指すため、金剛山周辺地域の活性化基本計画を策定し、事業展開 | P28 |
| 奉建塔周辺活性化整備事業（継続） | 集客力を高めるため奉建塔周辺の活性化基本計画を策定し、事業展開 | P29 |
| 地域グルメ・お土産開発事業（継続） | 村民等による新たな料理、食品、土産物の開発を誘導し、商品化に向け支援 | P29 |
| 奥河内観光事業（継続） | 河内長野市との連携により、金剛山から岩湧山の「奥河内地域」で交流人口の増加につながる各種イベントの開催や観光ボランティアを育成 | P30 |
| 金剛山の里　棚田夢灯り＆収穫祭（継続） | 村内の農林・商工・観光の関係団体の協力により下赤阪の棚田周辺において地域産物市などの展示、即売及び棚田のライトアップを実施 | P31 |

# 第３章　分野別事業計画

１．事業計画の見方

○事業計画は、基本構想の「基本柱」ごとにその政策内容を具体化した基本施策・細施策・事業として掲載します。

○６つの基本柱と次に示す施策体系に沿って事業内容を掲載します。

○なお、施策によって再掲となる事業もあり、これらは中心となる施策に位置付けられる箇所に内容を記述し、ほかは事業名だけを掲載します。

体系コードの見方

【事業Ｎｏ．０１　０１　０１　０１】

①　②　③　④

①…基本柱の番号を示しています。　②…基本施策の番号を示しています。

③…細施策の番号を示しています。　④…事業の番号を示しています。

## 2．実行計画むらづくり施策体系

**基本構想**

【むらづくりの姿勢】

【姿勢１】
村民等と行政の役割の明確化による協働型社会の構築

【姿勢２】
行財政改革の推進

【姿勢３】
開かれた行政経営

【姿勢４】
広域行政の推進

【将来像】

『みんなが集う　みんなで育む　みんなに優しい　みんなを結ぶ　ちはやあかさか』
～夢を持って子育てができる　金剛山（ここせ）のむら～

**実行計画**

| 【基本柱】 | 【基本施策】 | 【細施策】 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本柱１ 安全・安心・環境 | 01施策　防災対策の推進 | 01地域防災計画の改定 | 02防災拠点の整備 | 03通信手段の整備 | 04自主防災組織の強化・防災意識の啓発 | 05砂防施設などの整備 |
| | | 06耐震化の促進 | | | | |
| | 02施策　防犯対策の強化 | 01防犯意識の啓発 | 02防犯体制の強化 | | | |
| | 03施策　消防・救急体制の充実 | 01消防車両・消防機材の充実 | 02消防団との連携強化 | 03消防・救急の広域化の推進 | 04救急救助体制の充実 | |
| | 04施策　水の安定供給 | 01水道施設の整備・補強 | 02水の安定供給の確保 | | | |
| | 05施策　ごみ減量化・再資源化の推進 | 01ごみ分別収集の推進 | 02ごみ再利用の推進 | 03ごみ処理施設の管理 | 04ごみ減量化の意識啓発 | |
| | 06施策　生活排水対策の推進 | 01下水道の整備 | 02個別合併浄化槽の助成・普及 | 03管渠・ポンプ施設の維持管理 | 04合併浄化槽の適正管理 | |
| | 07施策　自然環境の保全・活用 | 01環境教育の推進 | 02環境汚染の防止 | 03環境基本計画等の策定 | 04官民協働による事業推進 | 05自然エネルギーの有効活用 |
| 基本柱２ 健康・福祉 | 01施策　健康増進・疾病予防の推進 | 01健康増進の推進 | 02疾病予防の推進 | 03健康管理システムの充実 | | |
| | 02施策　地域医療体制の充実 | 01地域医療体制の充実 | | | | |
| | 03施策　食育の推進 | 01村の特長ある食育の推進 | | | | |
| | 04施策　高齢者福祉の推進 | 01高齢者の生きがいづくりの推進 | 02地域支援体制の充実 | 03介護予防・生活支援サービスの提供 | | |
| | 05施策　障がい者福祉の推進 | 01自立支援と社会参加の促進 | 02相談・情報提供支援の推進 | 03地域生活支援サービスの提供 | | |
| | 06施策　地域福祉の推進 | 01地域福祉の意識啓発 | 02住民による地域福祉の促進 | 03社会福祉協議会への支援 | 04やさしい心配りのむらづくり | |
| | 07施策　子育て支援の推進 | 01地域における子育て支援 | 02保育サービスの充実 | 03要保護・要支援児童への対応 | 04子育て生活環境の整備 | |
| | 08施策　医療費の適正化 | 01健康管理対策の充実 | 02経営の健全化 | | | |
| 基本柱３ 教育・歴史・伝統 | 01施策　学校教育の推進 | 01幼・小・中一貫教育の推進 | 02村の特色を生かした教育の推進 | 03外国語活動・教育の充実 | 04教育施設等の整備・教育環境の充実 | |
| | 02施策　地域教育力の向上 | 01地域に開かれた学校づくりの推進 | | | | |
| | 03施策　歴史的・文化的遺産の保全・活用 | 01文化財の調査・保護・活用 | | | | |
| | 04施策　生涯学習の充実 | 01生涯学習の推進 | 02生涯学習の環境整備 | 03図書室システムの充実 | | |
| 基本柱４ 観光・産業・地域振興 | 01施策　観光の振興 | 01金剛山周辺の整備・集客増 | 02歴史・自然資源の活用による観光振興 | 03観光農業の促進 | 04村の特産品のブランド化 | 05広域観光の推進 |
| | | 06観光情報発信の強化 | 07国内外からの観光客の誘致 | | | |
| | 02施策　農林業の振興 | 01従事者の確保・育成 | 02経営指導・支援体制の強化 | 03遊休農地の解消 | 04６次産業化の調査・研究 | 05林業基盤の整備 |
| | | 06間伐などの林地保全 | 07河内木材のブランド化 | | | |
| | 03施策　商工業の振興 | 01経営改善指導体制の充実 | 02企業等の誘致 | 03消費生活情報の提供 | | |
| 基本柱５ 建設・交通 | 01施策　生活道路等の維持 | 01村道の維持管理 | 02橋梁の維持管理 | 03交通安全施設の整備・充実 | 04生活関連施設の管理 | |
| | 02施策　広域道路交通網の充実 | 01広域道路交通網の整備促進 | | | | |
| | 03施策　公共交通の充実 | 01地域公共交通システムの構築 | | | | |
| | 04施策　住環境の維持 | 01美しいまちなみづくり | | | | |
| 基本柱６ 協働・行政経営 | 01施策　協働によるむらづくり | 01住民参画の機会の拡充 | 02広報・公聴活動の充実 | 03協働のシステムづくり | | |
| | 02施策　コミュニティ活動の推進 | 01村内外の交流活動の推進 | 02地域活動の支援の充実 | | | |
| | 03施策　人権教育・意識啓発の推進 | 01人権教育の推進 | 02人権の意識啓発 | | | |
| | 04施策　健全な行財政運営 | 01自主財源の確保 | 02行財政改革の推進 | 03組織機構の管理 | 04人材育成と能力開発 | 05財政の健全化 |
| | 05施策　事務事業評価制度の構築 | 01事務事業評価制度の構築 | 02外部評価制度の構築 | | | |
| | 06施策　行政の広域化の推進 | 01広域連携の推進 | | | | |
| | 07施策　情報ネットワーク化の推進 | 01情報基盤の整備 | 02行政情報のネットワーク化 | | | |

# 基本柱１　“安全・安心・環境”

～豊かな自然と共生し　やすらぎのある暮らしを育む　むらづくり～

## 基本施策１　防災対策の推進

【基本的な考え方】

●防災対策については、災害本部となる役場庁舎の老朽化が著しいため、防災拠点の整備を進めます。また、災害に備えた防災資器材の整備を進めます。

●通信手段の整備については、緊急時、災害時に適切な情報の確保・伝達のための音達不良地域における戸別受信機の整備、府防災行政無線再整備と移動系防災行政無線の整備を進めます。

●緊急時に備えた心構えの啓発や防災教育、防災訓練を実施により、自主防災意識の啓発に努めます。

●近年の集中豪雨などによる山地崩壊や河川の増水による村民の生命や財産などへの被害を防止するため、砂防施設などの整備を大阪府に要望するなど、村民が安全で安心できる生活の確保に努めます。

●土砂災害から村民の生命や財産を守るため雨量などの情報伝達や情報システムの整備を推進します。

●災害時に重要な機能を果たす公共施設や学校施設などの耐震化を優先的に推進するとともに、民間建築物の耐震化を促進するため、耐震診断や耐震改修にかかる費用の一部を助成します。

【個別事業計画】

**基本施策　防災対策の推進**

| 事務事業名 | 防災拠点整備事業(継続)<br>事業No. 01010201　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 総務課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 01安全・安心・環境 | 01防災対策の推進 | 02防災拠点の整備 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

先般の東日本大震災を教訓に今後想定される東南海・南海地震に対する防災機能強化を図るため、救済対策や防災・災害復旧拠点機能を果たす中枢施設としての役場庁舎整備を図る。

②内容

防災本部の拠点となる役場庁舎建設のための基本計画を策定する。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | | | — | | | | |
| ② | 目標指標 | | | — | | | | |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 1,545 | — | — | — | 0 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・庁舎建設基本計画の策定 | | |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策　防災対策の推進

| 事務事業名 | 防災対策事業(継続)<br>事業No. 01010301　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 総務課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 01安全・安心・環境 | 01防災対策の推進 | 03通信手段の整備 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

村民生活の安全・安心を確保するため、村の防災力の強化を図る。

②内容

土砂災害等の情報伝達(防災行政無線：継続)、府防災行政無線(同報系・移動系)の整備を行う。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民・自主防災組織団体

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 大阪府防災行政無線同報系 | 所 | — | 1 | — | — | 1 |
| ② | 目標指標 | 大阪府防災行政無線移動系 | 所 | — | 40 | — | — | 40 |
| ③ | 目標指標 | 無線戸別受信機 | 数 | 28 | 70 | 20 | 20 | 110 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 14,286 | 58,950 | 1,100 | 1,100 | 61,150 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・大阪府防災行政無線(同報系・移動系)の整備、戸別受信機の整備 | ・戸別受信機の整備 | ・戸別受信機の整備 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策　防災対策の推進

| 事務事業名 | 建築物耐震化事業(継続)<br>事業No. 01010601　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 地域振興課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 01安全・安心・環境 | 01防災対策の推進 | 06耐震化の促進 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

地震による建築物の倒壊などの被害から村民の生命、財産を守る。

②内容

昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震診断・耐震設計及び改修費用の一部を助成する。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 耐震診断補助件数 | 戸 | 10 | 10 | 10 | 10 | 30 |
| ② | 目標指標 | 耐震改修補助件数 | 戸 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 |
| ③ | 目標指標 | 耐震設計補助件数 | 戸 | 2 | 2 | 2 | 2 | 6 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 1,050 | 1,050 | 1,050 | 1,050 | 3,150 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・耐震診断費用の一部助成<br>・耐震改修費用の一部助成<br>・耐震設計費用の一部助成 | ・耐震診断費用の一部助成<br>・耐震改修費用の一部助成<br>・耐震設計費用の一部助成 | ・耐震診断費用の一部助成<br>・耐震改修費用の一部助成<br>・耐震設計費用の一部助成 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策２　防犯対策の強化

【基本的な考え方】

●犯罪のない明るい社会を築くために村民一人ひとりの防犯意識の向上に努めるとともに、広報やホームページなどを活用し、防犯意識の啓発に努めます。

●関係機関との連携による防犯体制の強化に努めます。

## 基本施策３　消防・救急体制の充実

【基本的な考え方】

●富田林市消防本部との連携による人員・消防車両・消防機材などの充実、また、消防団との連携強化により、消防体制の充実を図ります。

【個別事業計画】

**基本施策　消防・救急体制の充実**

| 事務事業名 | 消防団車両更新事業(継続)<br>事業No. 01030101　※重点施策 | | 担当部署名 | 総務課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 01安全・安心・環境 | 03消防・救急体制の充実 | 01消防車両・消防機材の充実 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

村内における消防団(7分団)の消防力向上に向け、必要な措置を図る。

②内容

村内消防団(7分団)に配置している消防車両が老朽化しているため、計画的に更新を図る。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村内消防団(7分団)

＜目標指標、事業費(計画額)及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 更新消防車両数 | 台 | 2 | — | 3 | 3 | 6 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 7,728 | — | 12,418 | 12,418 | 24,836 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| | ・消防車両を3台更新 | ・消防車両を3台更新 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

**基本施策　消防・救急体制の充実**

| 事務事業名 | 常備消防消防車整備事業(継続)<br>事業No. 01030102　※重点施策 | | 担当部署名 | 総務課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 01安全・安心・環境 | 03消防・救急体制の充実 | 01消防車両・消防機材の充実 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

消火活動に必要な消防車両を整備することにより、村民の安全・安心な生活を確保することを目的とする。

②内容

老朽化(17年)に伴う富田林市消防本部千早赤阪分署のタンク車の更新を行う。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

富田林市消防本部千早赤阪分署

＜目標指標、事業費(計画額)及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 更新車両数 | 台 | — | — | 1 | — | 1 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | — | — | 34,596 | — | 34,596 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| | ・消防タンク車更新 | |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策４　水の安定供給

【基本的な考え方】

●老朽化した水道施設の整備・補強、水源の確保により、安定した水の供給に努めるとともに、大阪広域水道企業団水への拡大も視野に入れ、村民のライフラインの確保を図ります。

●経営の健全化に努めます。

【個別事業計画】

## 基本施策　水の安定供給

| 事務事業名 | 水道施設更新事業(継続)<br>事業No. 01040101　※重点施策 | | 担当部署名 | 上下水道課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 01安全・安心・環境 | 04水の安定供給 | 01水道施設の整備・補強 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

安全で安定した水の供給を図る。

②内容

老朽化した水道施設(取水・浄水・配水)の更新事業を行う。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民

＜目標指標、事業費(計画額)及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 水道施設整備 | 所 | — | 1 | 1 | 1 | 1 |
| ② | 目標指標 | 配水管整備 | m | — | 600 | 1,500 | 1,700 | 3,800 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 9,500 | 24,000 | 239,000 | 206,000 | 469,000 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・千早浄水場整備実施設計<br>・配水管整備工事 | ・千早浄水場整備工事<br>・配水管整備工事 | ・千早浄水場整備工事<br>・配水管整備工事 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策　水の安定供給

| 事務事業名 | 水道事業基本計画見直し事業(新規)<br>事業No. 01040104　※重点施策 | | 担当部署名 | 上下水道課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 01安全・安心・環境 | 04水の安定供給 | 01水道施設の整備・補強 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

平成23年度に策定した水道事業基本計画の見直しを行うとともに水道事業の将来ビジョン(地域水道ビジョン)を策定する。

②内容

老朽化に伴う施設の更新、水道水の水質改善、経営悪化等の課題を受けて、大阪広域水道企業団との統合、補助金の活用等さまざまな対応策を検討し、水道事業の将来ビジョンを策定、水道事業基本計画の見直しを行う。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民

＜目標指標、事業費(計画額)及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 水道基本計画見直し | 式 | | 1 | | | 1 |
| ② | 目標指標 | 水道事業将来ビジョン策定 | 式 | | 1 | | | 1 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 0 | 8,000 | 0 | 0 | 8,000 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・水道事業基本計画の見直し<br>・水道事業将来ビジョン策定 | | |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策５　ごみ減量化・再資源化の推進

【基本的な考え方】

●容器包装リサイクルによる分別収集の推進により、ごみの分別収集・減量化を進めます。

●ごみの再利用の推進により、ごみの再資源化・再利用化を進めます。

●南河内環境事業組合におけるごみ処理体制の充実や適切な施設管理の推進により、ごみ処理体制の充実を図ります。

●村民意識の高揚を図るため、環境に関する情報発信に努めます。

## 基本施策６　生活排水対策の推進

【基本的な考え方】

●下水道計画に基づいた計画的な下水道整備、個別合併浄化槽の助成や普及、また、広報活動により水洗化を促進します。

●整備済みの管渠・ポンプ施設の適切な維持管理を推進します。

●浄化槽の適正な維持・管理を徹底するため関係機関と連携するなど設置者への指導や啓発に努めます。

●経営の健全化に努めます。

【個別事業計画】

**基本施策　生活排水対策の推進**

| 事務事業名 | 下水道整備事業(継続)<br>事業No. 01060101　※重点施策 | | 担当部署名 | 上下水道課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 01安全・安心・環境 | 06生活排水対策の推進 | 01下水道の整備 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

生活環境の改善、公共水域の水質保全を図る。

②内容

下水道施設工事等の発注及び監督業務を行う。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| ― | ― |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民

＜目標指標、事業費(計画額)及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 下水道管布設 | m | 18 | 371 | 75 | 75 | 521 |
| ② | 目標指標 | 供用開始件数 | 件 | 15 | 15 | 10 | 10 | 35 |
| ③ | 目標指標 | 小吹台長寿命化事業(マンホール蓋) | 枚 | 79 | 80 | 60 | 60 | 200 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 51,487 | 56,269 | 39,000 | 39,000 | 134,269 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・下水道管の布設<br>・マンホール蓋更新 | ・下水道管の布設<br>・マンホール蓋更新 | ・下水道管の布設<br>・マンホール蓋更新 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

### 基本施策　生活排水対策の推進

| 事務事業名 | 公共下水道維持管理事業(継続)<br>事業No. 01060301　※重点施策 | | 担当部署名 | 上下水道課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 01安全・安心・環境 | 06生活排水対策の推進 | 03管渠・ポンプ施設の維持管理 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

村公共下水道施設の適切な維持管理に努める。

②内容

下水道維持管理計画に基づき、下水道施設(老朽管)など維持管理を行う。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村下水道施設

＜目標指標、事業費(計画額)及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 下水道維持管理区域 | ha | 195 | 195 | 196 | 196 | 196 |
| ② | 目標指標 | マンホールポンプ施設 | カ所 | 13 | 14 | 14 | 14 | 14 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 14,823 | 15,335 | 20,000 | 20,000 | 55,335 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・小吹台団地老朽管・蓋の更新<br>・詳細カメラ調査 | ・小吹台団地老朽管・蓋の更新<br>・詳細カメラ調査 | ・小吹台団地老朽管・蓋の更新<br>・詳細カメラ調査 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策７　自然環境の保全・活用

【基本的な考え方】

●広報やパンフレット等の活用、学校教育や生涯学習の場で環境問題に関する学習機会の拡大や啓発活動により、環境に対する意識高揚を図ります。

●河川や道路などにおける不法投棄の防止、水質や自然環境を保全するため、関係機関との連携強化により環境汚染の防止を推進します。

●地球温暖化対策の推進にかかる実行計画として、地球温暖化対策実行計画を策定します。

●環境保全団体等との連携（官民協働）により不法投棄対策など環境美化活動を推進します。

●豊かな自然環境を生かした自然エネルギーの活用など、環境負荷の軽減となる取り組みを検討します。

# 基本柱２　“健康・福祉”

～心と体の健康を　みんなで育む　むらづくり～

## 基本施策１　健康増進・疾病予防の推進

【基本的な考え方】

●健康増進については、健康増進から疾病予防など総合的な保健施策の推進をはじめ、乳幼児期から高齢期までの各ライフステージに応じた各種検診や保健指導の充実、健康管理システムの充実、医療情報ネットワークの構築、ワクチン接種費用の助成などにより、保健施策の充実を進めます。

●地域ボランティアと協力して地域住民の健康意識を高めるとともに、地域ボランティアの人材育成を図り、地域における健康づくり活動を推進します。

●疾病予防については、感染症の予防などに努めるとともに、感染症の拡大を防ぎ、村民の健康及び生命の安全を守ります。

●子どもの健やかな成長と発達、育児不安の軽減などを図りながら、健全な親子関係を築くことを目的としてきめ細かな母子保健事業の充実を図ります。

【個別事業計画】

**基本施策　健康増進・疾病予防の推進**

| 事務事業名 | 任意予防接種費用助成事業（継続）<br>事業No. 02010201　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 健康福祉課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画むらづくり体系 | （基本柱） | （基本施策） | （細施策） | |
| | 02健康・福祉 | 01健康増進・疾病予防の推進 | 02疾病予防の推進 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

乳幼児の健やかな成長の保障と保護者の経済的負担の軽減、高齢者の肺炎の発症及び重症化の予防と健康の保持増進を図る。

②内容

・乳幼児に対するワクチン接種費用の助成を行う。（個別医療機関接種）
・高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用の助成を行う。（個別医療機関接種）

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象（誰を対象とするのか）＞

村民

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計（H26～28） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 予防接種者数 | 人 | 210 | 110 | 110 | 110 | 330 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | |
| 事業費（計画額） | | | 千円 | 1,194 | 578 | 578 | 578 | 1,734 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・乳幼児に対するワクチン接種費用を助成<br>・高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用を助成 | ・乳幼児に対するワクチン接種費用を助成<br>・高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用を助成 | ・乳幼児に対するワクチン接種費用を助成<br>・高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用を助成 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

**基本施策　健康増進・疾病予防の推進**

| 事務事業名 | 妊婦健康診査公費助成事業（継続）<br>事業No. 02010202　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 健康福祉課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | （基本柱） | （基本施策） | （細施策） | |
| | 02健康・福祉 | 01健康増進・疾病予防の推進 | 02疾病予防の推進 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

母体や胎児の健康管理の充実及び、妊娠にかかる経済的負担の軽減を図るために妊婦健診の助成を継続し、安心して妊娠・出産できる体制を確保する。
子どもの健全育成、異常の早期発見、子育て支援、虐待予防を図る。

②内容

・妊婦健康診査、乳幼児健康診査の費用を助成する（個別医療機関委託分）。
・妊婦健康診査の公費助成14回で計116,840円を助成する。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| ― | ― |

＜対象（誰を対象とするのか）＞

妊婦、乳幼児及びその保護者

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計（H26～28） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 1人当たりの妊婦健診受診回数 | 回 | 14 | 14 | 14 | 14 | 42 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | 100 |
| 事業費（計画額） | | | 千円 | 4,744 | 4,746 | 4,746 | 4,746 | 14,238 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・妊婦健康診査の実施 | ・妊婦健康診査の実施 | ・妊婦健康診査の実施 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策２　地域医療体制の充実

【基本的な考え方】

●近隣市町や関係機関との連携・協力により休日診療や小児救病診療、二次救急体制の充実により、地域医療体制の充実を図ります。

## 基本施策３　食育の推進

【基本的な考え方】

●食育の推進をライフステージごとに適切かつ継続的に行うことにより、健全な食生活、正しい食習慣を啓発し、村民の健康増進を図ります。また、子育て支援の一環として就学前の子どもから保育園・幼稚園・小中学校を中心とした食育を推進します。

【個別事業計画】

**基本施策　食育の推進**

| 事務事業名 | 食育推進事業(継続)<br>事業No. 02030101　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 健康福祉課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 02健康・福祉 | 03食育の推進 | 01村の特長ある食育の推進 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むため、食育関連事業を推進する。

②内容

村食育推進計画に基づき、村民や関係団体などと協働しながら食育活動に取り組むとともに、村特有の地産地消の確立や幼・小・中の一貫した教育等、健康、産業、教育・保育の各分野が相互に連携を図りながら、村の特徴ある食育事業を推進する。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| ○ | ● |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度<br>実績値 | 26年度<br>計画 | 27年度<br>計画 | 28年度<br>計画 | 目標値合計<br>(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 食育関連会議開催 | 回 | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 |
| ② | 目標指標 | 子ども対象の食育関連事業参加者数 | 人 | 200 | 200 | 200 | 200 | 600 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 2,822 | 2,822 | 2,822 | 2,822 | 8,466 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・食育関連会議の開催<br>・食育推進事業の実施 | ・食育関連会議の開催<br>・食育推進事業の実施 | ・食育関連会議の開催<br>・食育推進事業の実施 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策４　高齢者福祉の推進

【基本的な考え方】

●高齢者ができるだけ健康でいきいきとした生活を送れるよう生活習慣病の予防や生活機能低下を防止するための保健・予防事業等を推進し、高齢者が自主的な健康づくりに取り組める環境づくりに努めます。

●学習機会の確保や内容の充実、就労やボランティアなど社会活動に関する情報提供体制の充実により、高齢者の生きがいづくりに努めます。

●関係機関や地域との連携強化を図る中で、高齢者の現状を詳細に把握し、心身の状態に応じたサービスを提供します。また、高齢者が地域社会から孤立しないため、積極的に社会参加ができるなど地域で支え合う環境の整備を進めます。

●高齢者福祉については、ひとり暮らしへの配食サービスをはじめ要介護状態を予防する取り組みにより、介護予防サービスを提供します。

●保健医療との連携や福祉の増進を包括的に支援する地域包括支援センターを中心に、各種関係団体との連携・強化を図り、地域全体が支え合うことにより高齢者が継続的に支援を受けられる環境づくりに努めます。

●要介護者が安心して安全な日常生活を送り、心身の状態や環境に応じた在宅サービスが提供されるよう、サービスの質の確保を図るとともに、施設サービスにおいても質の向上を図ります。
●介護保険サービスの安定的な供給のため、適正な介護保険事業運営を図ります。

## 基本施策５　障がい者福祉の推進

【基本的な考え方】

●地域において自立した日常生活が営むことができるよう、教育機関や就労機関等との連携を図り支援します。また、職業訓練や雇用促進の機会の拡大により、自立支援の充実を進めます。
●身近な生活の相談から障がい福祉サービスにいたるまで、関係機関との連携を図り、障がい者本人を中心とした相談や情報提供などの支援を推進します。
●日常生活を営むうえで必要な在宅サービスなどの提供に努めるとともに、個々の状況に応じて利用できる施設サービスを提供します。また、健康診査や健康相談の実施により、障がいの早期把握に努め、状態に応じた適切な支援策を受けられる環境づくりに努めます。

## 基本施策６　地域福祉の推進

【基本的な考え方】

●地域福祉については、各種団体への働きかけを通した地域福祉の意識啓発、地域住民同士の自主的な支え合い活動の支援により地域福祉の充実に努めます。
●ボランティア団体の組織化をはじめ、情報提供、活動拠点の整備、学習機会の確保の支援、ボランティア活動の活性化など、社会福祉協議会への支援に努めます。
●公共施設などの段差解消や手すり・点字ブロック・音声案内装置などバリアフリー化に努めるとともに、すべての人が安心して社会参加できる地域社会を形成するため広報・啓発活動の充実により、やさしい心配りのあるまちづくりを進めます。

## 基本施策７　子育て支援の推進

【基本的な考え方】

●地域における子育て支援サービスの充実を図るとともに、児童の居場所づくりや交流活動等により、子どもの健全育成に向けた子育て支援を推進します。

●仕事と生活など多様な働き方に対応した子育て支援を展開し、仕事と子育ての両立支援を図るため、保育園における長時間保育など保育サービスの充実を進めます。

●児童虐待防止に向けて地域全体で子どもを守る支援体制を構築するとともに、ひとり親家庭の自立支援や障がい児の健全な発達の支援などを推進します。

●子育て支援のため経済的負担の軽減を図るため、子どもにかかる医療費（入・通院）の一部助成を中学校卒業まで拡充します。

●身近な遊び場の整備により、子育てにやさしい生活環境の整備を推進します。

●子ども・子育て支援新制度については、国の基本方針に基づき、質の高い幼児期の学校教育・保育・子育て支援を総合的に推進します。

【個別事業計画】

### 基本施策　子育て支援の推進

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 地域子育て支援拠点事業（継続）<br>事業No. 02070103　※重点施策 ★ | | | 担当部署名 | 健康福祉課 |
| 第4次総合計画むらづくり体系 | （基本柱） | （基本施策） | | （細施策） | |
| | 02健康・福祉 | 07子育て支援の推進 | | 01地域における子育て支援 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進する、

②内容

子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育てに関する相談援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育て及び子育て支援に関する講習等の実施、地域支援活動の実施など各種事業を実施する。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象（誰を対象とするのか）＞

就学前児童とその保護者

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 延べ利用者数 | 人 | 1,700 | 1,700 | 1,700 | 1,700 | 5,100 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | 0 |
| 事業費（計画額） | | | 千円 | 7,420 | 7,420 | 7,420 | 7,420 | 22,260 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・子育て支援拠点の運営委託 | ・子育て支援拠点の運営委託 | ・子育て支援拠点の運営委託 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策　子育て支援の推進

| 事務事業名 | スクールソーシャルワーカー活用事業（継続）<br>事業No. 02070301　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 健康福祉課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画むらづくり体系 | （基本柱） | （基本施策） | （細施策） | |
| | 02健康・福祉 | 07子育て支援の推進 | 03要保護・要支援児童への対応 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

児童虐待防止対策の充実を図る。

②内容

専門的な知識・経験を有するスクールソーシャルワーカーを雇用し、要保護児童等に対して、直接的な関与も含め、関係機関とともに対象家庭の支援を行う。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象（誰を対象とするのか）＞

支援を必要とする子どもとその保護者

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | スクールソーシャルワーカーの配置 | 人 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 |
| ② | 目標指標 | 支援活動日 | 日 | 24 | 48 | 48 | 48 | 144 |
| 事業費（計画額） | | | 千円 | 504 | 1,008 | 1,008 | 1,008 | 3,024 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・スクールソーシャルワーカーによる支援活動<br>・ケース検討会議の助言 | ・スクールソーシャルワーカーによる支援活動<br>・ケース検討会議の助言 | ・スクールソーシャルワーカーによる支援活動<br>・ケース検討会議の助言 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策　子育て支援の推進

| 事務事業名 | 子育て支援ヘルパー派遣事業（継続）<br>事業No. 02070302　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 健康福祉課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画むらづくり体系 | （基本柱） | （基本施策） | （細施策） | |
| | 02健康・福祉 | 07子育て支援の推進 | 03要保護・要支援児童への対応 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、ヘルパーがその居宅を訪問し、養育に関する指導、助言、家事援助を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する。

②内容

家事援助等のヘルパーを派遣する。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象（誰を対象とするのか）＞

支援を必要とする家庭

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 利用者数 | 人 | 5 | 8 | 8 | 8 | 24 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | |
| 事業費（計画額） | | | 千円 | 300 | 500 | 500 | 500 | 1,500 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・家事援助ホームヘルパーの派遣 | ・家事援助ホームヘルパーの派遣 | ・家事援助ホームヘルパーの派遣 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策　子育て支援の推進

| 事務事業名 | 子育て支援ショートステイ事業(継続) | | | 担当部署名 | 健康福祉課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 事業No. 02070303 | ※重点施策 | ★ | | |
| 第4次総合計画むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | | (細施策) | |
| | 02健康・福祉 | 07子育て支援の推進 | | 03要保護・要支援児童への対応 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

保護者の疾病その他の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合及び経済的な理由により緊急一時的に母子を保護することが必要な場合等に、児童養護施設その他の保護を適切に行うことのできる施設において一定期間、養育・保護を行うことににより、これらの児童及びその家庭の福祉の向上を図る。

＜対象(誰を対象とするのか)＞

②内容

1. ショートステイ事業
保護者が疾病、疲労その他身体上若しくは精神上又は環境上の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合や経済的な理由により緊急一時的に母子を保護することが必要な場合等に実施施設において養育・保護を行う。
2. トワイライトステイ事業
保護者が、仕事その他の理由により平日の夜間又は休日に不在となり家庭において児童を養育することが困難になった場合その他緊急の場合において、その児童を実施施設において保護し、生活指導、食事の提供等を行う。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 利用者数 | 人 | — | 1 | 1 | 1 | 3 |
| ② | 目標指標 | | | — | | | | |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | — | 180 | 180 | 180 | 540 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・ショートステイ事業の実施<br>・トワイライトステイ事業の実施 | ・ショートステイ事業の実施<br>・トワイライトステイ事業の実施 | ・ショートステイ事業の実施<br>・トワイライトステイ事業の実施 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策　子育て支援の推進

| 事務事業名 | 子ども医療費助成事業(継続) | | | 担当部署名 | 住民課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 事業No. 02070502 | ※重点施策 | ★ | | |
| 第4次総合計画むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | | (細施策) | |
| | 02健康・福祉 | 07子育て支援の推進 | | 05子育て生活環境の整備 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

児童・乳幼児を抱える家庭の精神的、経済的な負担の軽減及び医療費の確保を図る。

②内容

中学校卒業までの医療費(入・通院)の自己負担の一部助成を行う。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

0歳～中学校卒業までの健康保険に加入している子ども

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 医療証交付数 | 人 | 600 | 600 | 600 | 600 | 1,800 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | 0 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 15,253 | 17,033 | 16,871 | 16,871 | 50,775 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・医療費(入・通院)の一部助成 | ・医療費(入・通院)の一部助成 | ・医療費(入・通院)の一部助成 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

# 基本柱３　“教育・歴史・伝統”

～歴史・文化、人が育む　むらづくり～

## 基本施策１　学校教育の推進

【基本的な考え方】

●学校教育については、村の特色を生かした総合的な学習や情操教育の充実、小中学校の一貫教育の推進により、村の特色を生かした教育を推進します。

●中学校の成長期にある生徒の心身の発達、健康の増進を図るため中学校給食を進めます。

●学力の向上対策や道徳教育の推進により、教育内容や道徳教育の充実を進めます。

●中学校卒業までに簡単な日常生活での英会話が話せるよう外国語指導助手などによる語学指導や海外留学体験事業を実施し、国際感覚の養成に努めます。

●小中学校におけるコンピューターなどを活用した教育内容の充実により、情報化への対応を進めます。

●学校施設の整備・耐震改修を計画的に推進し、学校園の安全管理、危機管理体制の充実など児童・生徒が安心して学べる教育環境づくりに努めます。

●教職員研修の充実をはじめ、多様な人材の活用、教育相談体制の充実を図ります。

【個別事業計画】

**基本施策　学校教育の推進**

| 事務事業名 | 英語教育推進事業(継続)<br>事業No. 03010301　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 教育課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 03教育・歴史・伝統 | 01学校教育の推進 | 03外国語活動・教育の充実 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

義務教育修了段階で自分の考えや意見を英語で伝えられる生徒の育成をめざす。

②内容

「読む」「書く」「聞く」「話す」をバランスよく育む授業への改善、家庭学習教材を開発し自学自習力を育成、英語検定3級相当の学力を身につける。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

小・中学生

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 英語検定5級程度(中学1年生)合格率 | % | 80 | 80 | 80 | 80 | 240 |
| ② | 目標指標 | 英語検定4級程度(中学2年生)合格率 | % | 70 | 70 | 70 | 70 | 210 |
| ③ | 目標指標 | 英語検定3級程度(中学3年生)合格率 | % | 54 | 60 | 60 | 60 | 180 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 2,133 | 509 | 509 | 509 | 1,527 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・英語教室支援員の配置<br>・英語検定受験費用助成 | ・英語教室支援員の配置<br>・英語検定受験費用助成 | ・英語教室支援員の配置<br>・英語検定受験費用助成 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策　学校教育の推進

| 事務事業名 | 留学生交流事業（継続）<br>事業No. 03010302　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 教育課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | （基本柱） | （基本施策） | （細施策） | |
| | 03教育・歴史・伝統 | 01学校教育の推進 | 03外国語活動・教育の充実 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

小・中学校の英語教育をさらに充実・発展させて、児童生徒が自分の考えを英語で表現する力をつけることを目的とする。

②内容

小・中学校にある英語教室に外国人留学生を招き、児童生徒と英語で会話をする場を設定する。英語教室では英語しか話さないルームとして位置づける。また、授業やレクリエーションなどを通じて留学生との交流を深める。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象（誰を対象とするのか）＞

小・中学生

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計（H26～28） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 交流事業 | 回 | 3 | 3 | 3 | 3 | 9 |
| ② | 目標指標 | | | — | | | | |
| 事業費（計画額） | | | 千円 | — | — | — | — | 0 |

| 25年度事業内容 | 26年度事業内容 | 27年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・留学生との交流 | ・留学生との交流 | ・留学生との交流 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策　学校教育の推進

| 事務事業名 | 海外留学体験事業（継続）<br>事業No. 03010303　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 教育課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | （基本柱） | （基本施策） | （細施策） | |
| | 03教育・歴史・伝統 | 01学校教育の推進 | 03外国語活動・教育の充実 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

小・中学校の英語教育をさらに充実・発展させて、児童生徒が自分の考えを生きた英語で表現する力をつけることを目的とする。

②内容

中学生を対象に夏休みに海外ホームステイを体験させるための費用を助成する。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象（誰を対象とするのか）＞

小・中学生

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計（H26～28） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | アンケート回収 | % | 87 | | | | 0 |
| ② | 目標指標 | 海外体験者数 | 人 | — | 20 | 20 | 20 | 60 |
| ③ | 目標指標 | | | — | | | | |
| 事業費（計画額） | | | 千円 | 928 | 10,408 | 10,281 | 10,281 | 30,970 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・海外留学体験の実施 | ・海外留学体験の実施 | 海外留学体験の実施 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

**基本施策　学校教育の推進**

| 事務事業名 | 千早小吹台小学校耐震補強事業(継続)<br>事業No. 03010401　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 教育課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 03教育・歴史・伝統 | 01学校教育の推進 | 04教育施設の整備・教育環境の充実 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

老朽化により耐震化が必要な施設の改修を行い、児童・生徒が安心して学べる教育環境の整備を図る。

②内容

昭和56年以前に建築された校舎の耐震補強工事を行う。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

小学生

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 学校施設耐震改修率 | % | 86 | 100 | — | — | 100 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 157,807 | 141,500 | — | — | 141,500 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・校舎耐震補強工事 | | |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策２　地域教育力の向上

【基本的な考え方】

●地域教育力については、幼稚園・小学校・中学校施設の地域への開放など地域に開かれた学校づくりを推進します。また、学校・家庭・地域が連携し、園児・児童・生徒を育成するなど地域との交流を促進します。

## 基本施策３　歴史的・文化的遺産の保全・活用

【基本的な考え方】

●歴史的・文化的遺産の保全・活用については、村内に残る貴重な両遺産を後世にまで恒久的に伝えるため保全に努めるとともに、それらを調査・研究のもとに明確に評価し、地域の活性化につなげるなど観光的資源として積極的に活用します。

●村民との協働による調査・研究の推進により、村民の歴史・郷土意識の高揚や地域の活性化を進めます。

## 基本施策４　生涯学習の充実

【基本的な考え方】

●生涯学習については、村の歴史や自然を生かした講座を体系的・継続的に行う村民大学を開催し、生涯学習機会の拡大を進めます。

●誰もがいつでも身近にスポーツに親しみ、村民一人ひとりが生涯にわたって健康で活力に満ちた社会の実現を目指すため、ニュースポーツの普及など情報提供に努めます。また、スポーツ拠点として良好な環境を提供するため、各種スポーツ施設の機能整備に努めます。

●スポーツ施設情報システムの導入により、住民サービス・利便性の向上、利用の促進を図ります。

【個別事業計画】

**基本施策　生涯学習の充実**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 村民大学事業(継続)<br>事業No. 03040101　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 教育課 |
| 第4次総合計画むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 03教育・歴史・伝統 | 04生涯学習の充実 | 01生涯学習の推進 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

村民や村外の人に生涯学習の機会を拡大するとともに交流人口の増加をめざす。

②内容

生涯学習の機会を拡大するため村民大学(講座)を開催する。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民・村外

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 村民大学参加者数 | 人 | 140 | 350 | 500 | 500 | 1,350 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 160 | 160 | 350 | 350 | 860 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・村民大学(講座)の開催 | ・村民大学(講座)の開催 | ・村民大学(講座)の開催 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

# 基本柱４　“観光・産業・地域振興”

～地域資源を生かし村民の元気を育む　むらづくり～

## 基本施策１　観光の振興

【基本的な考え方】

●楠木正成ゆかりの史跡などの歴史資源、棚田などの自然資源を活用し、観光産業への展開及び地域の活性化を図ります。

●観光の振興においては、案内板の設置や登山道の整備をはじめ、金剛山ロープウェイの安全性を確保するための整備・管理体制の充実、山野草の保護・育成を図ります。また、観光情報などを対外にＰＲするため、ホームページの充実などを進めます。

●歴史講座などのイベントの開催をはじめ、村の歴史や史跡などを説明する案内ボランティアの育成などにより、歴史・文化資源を活用した観光振興を図ります。

●村民との協働により本村の特産品や地域グルメを開発誘導し、商品化に向け支援します。

●棚田に関するイベントなど観光農業の促進により、農業と連携した観光を進めます。

●広域観光の調査・研究により、大阪府や近隣市町と連携した広域観光を推進します。

【個別事業計画】

**基本施策　観光の振興**

| 事務事業名 | 金剛山周辺活性化事業(継続)<br>事業No. 04010101　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 交流人口増加プロジェクトチーム |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 04観光・産業・地域振興 | 01観光の振興 | 01金剛山周辺の整備・集客増 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

自然観光拠点として位置付けられている金剛山周辺地域の集客増及び金剛登山客など交流人口増加を図り、地域活性化に寄与する。

②内容

集客力を高めるため(仮称)金剛山周辺の活性化基本計画を策定し、事業展開を図る。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民・村外

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 検討会議 | 回 | — | 12 | 12 | | 24 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | — | 518 | 518 | — | 1,036 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・金剛山周辺活性化基本計画の検討 | ・金剛山周辺活性化基本計画の策定 | ・諸施策の展開 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策　観光の振興

| 事務事業名 | 奉建塔周辺活性化整備事業(継続)<br>事業No. 04010201　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 交流人口増加プロジェクトチーム |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 04観光・産業・地域振興 | 01観光の振興 | 02歴史・自然資源の活用による観光振興 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

歴史観光拠点として位置付けられている楠公史跡、くすのきホール、道の駅、郷土資料館、奉建塔、スイセンの丘など地域資源が点在している奉建塔周辺をむらづくりの中心的拠点として整備を図る。

②内容

集客力を高めるため奉建塔周辺の活性化基本計画を策定し、事業展開を図る。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民・村外

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 検討会議 | 回 | — | 12 | | | 12 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | — | — | — | — | 0 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・奉建塔周辺活性化基本計画の検討 | ・奉建塔周辺活性化基本計画の策定 | ・諸施策の展開 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策　観光の振興

| 事務事業名 | 地域グルメ・お土産開発事業(継続)<br>事業No. 04010401　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 地域振興課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 04観光・産業・地域振興 | 01観光の振興 | 04村の特産品のブランド化 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

村特産品の開発及びその販売を促進し、情報発信することにより、千早赤阪村としての知名度向上を図るとともに、観光振興及び地域の活性化を生み出すことを目的とする。

②内容

村民等による新たな料理、食品、土産物の開発を誘導し、商品化に向け支援する。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民・村外

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 特産品開発 | | — | | 1 | 1 | 2 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 200 | 200 | 1,000 | 1,000 | 2,200 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・先進事例研究<br>・商品化開発の検討 | ・商品化への支援 | ・商品化への支援 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

**基本施策　観光の振興**

| 事務事業名 | 奥河内観光事業(継続) 事業No. 04010501 ※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 地域振興課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 04観光・産業・地域振興 | 01観光の振興 | 05広域観光の推進 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

金剛山の魅力を情報発信することにより観光客を呼び込み、交流人口を増加を図る。

②内容

河内長野市との連携により、金剛山から岩湧山の「奥河内地域」で交流人口の増加につながる各種イベントの開催や観光ボランティアの育成を図る。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民・村外

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度 実績値 | 26年度 計画 | 27年度 計画 | 28年度 計画 | 目標値合計 (H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 観光ボランティア育成(再掲) | 人 | 5 | 5 | 5 | 5 | 15 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 350 | 350 | 350 | 350 | 1,050 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・各種イベント開催<br>・観光ボランティアの育成 | ・各種イベント開催<br>・観光ボランティアの育成 | ・各種イベント開催<br>・観光ボランティアの育成 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策２　農林業の振興

【基本的な考え方】

●農林業については、ナスやキュウリ、ミカン、切り花などの特産物のほか、新たな農作物生産への取り組み、特産物のブランド化及び村内外へのＰＲにより、地域の条件を生かした農産物の生産を促進します。

●農林業経営の指導体制の充実、生産技術の向上を図るなどの各種施策の推進により、指導・支援体制の強化を進めます。

●営農・営林に対する意識改革をはじめ、新規就農者への支援、農業従事者のネットワークづくりにより、後継者の確保･育成を促進します。

●農地の保全と維持管理をはじめ、遊休農地の活用、体験農園等による農地の保全により、農地の保全・管理を進めます。また、有害鳥獣による農作物被害を防止するため、鳥獣被害防止計画に基づき、被害の削減・防止に取り組み、農作物生産を支援します。

●農道・水路などの整備により、農業基盤の充実を図ります。

●林地の保全・管理、林道の整備・改良・維持・管理などにより、林業基盤の充実を図ります。

●既存の特産である河内木材のさらなるブランド化を調査・研究します。

## 【個別事業計画】

### 基本施策　農林業の振興

| 事務事業名 | 青年就農給付金事業(継続)<br>事業No. 04020101　※重点施策 | | 担当部署名 | 地域振興課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 04観光・産業・地域振興 | 02農林業の振興 | 01従事者の確保・育成 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。

②内容

経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する給付金150万円を給付する。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

45歳以下の村内農業への新規就農者

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 新規就農者 | 人 | 1 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 1,500 | 4,500 | 4,500 | 4,500 | 13,500 |

| 25年度事業内容 | 26年度事業内容 | 27年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・青年就農給付金助成 | ・青年就農給付金助成 | ・青年就農給付金助成 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

### 基本施策　農林業の振興

| 事務事業名 | 金剛山の里棚田夢灯り＆収穫祭(継続)<br>事業No. 04020301　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 地域振興課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 04観光・産業・地域振興 | 02農林業の振興 | 03遊休農地の解消 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

棚田の魅力や村の良さを周知し、地域間交流を進め、地域の活性化を図る。

②内容

下赤阪の棚田において村民協働により灯ろうでライトアップし、村の農業・農産物などの情報発信の場とする。また、農産物の直売・展示など収穫祭を開催する。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| ● | ○ |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民・村外

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 棚田夢灯り開催協働参加者数 | 人 | 300 | 300 | 300 | 300 | 900 |
| ② | 目標指標 | 棚田夢灯り開催来客者数 | 人 | 4,000 | 4,000 | 4,000 | 4,000 | 12,000 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 1,600 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 4,500 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・下赤阪の棚田のライトアップ<br>・収穫祭<br>・伝統文化や小中学生などによるイベント開催 | ・下赤阪の棚田のライトアップ<br>・収穫祭<br>・伝統文化や小中学生などによるイベント開催 | ・下赤阪の棚田のライトアップ<br>・収穫祭<br>・伝統文化や小中学生などによるイベント開催 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策　農林業の振興

| 事務事業名 | 有害鳥獣駆除対策事業(継続) | | 担当部署名 | 地域振興課 |
|---|---|---|---|---|
| | 事業No. 04020302 | ※重点施策 | | |
| 第4次総合計画 むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 04観光・産業・地域振興 | 02農林業の振興 | 03遊休農地の解消 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

農作物に対する被害を防止するため、イノシシなどの有害鳥獣を駆除し、農業者の経営意欲の維持、農地の保全に努める。

②内容

鳥獣被害防止計画に基づき、有害鳥獣の駆除を進める。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| ― | ― |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村内農業者

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度 実績値 | 26年度 計画 | 27年度 計画 | 28年度 計画 | 目標値合計 (H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | イノシシ捕獲数 | 頭 | 100 | 100 | 100 | 100 | 300 |
| ② | 目標指標 | アライグマ捕獲数 | 頭 | 2 | 15 | 15 | 15 | 45 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 1,755 | 2,223 | 2,223 | 2,223 | 6,669 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・猟友会に委託し、イノシシ狩猟を実施<br>・アライグマ捕獲カゴの貸し出し | ・猟友会に委託し、イノシシ狩猟を実施<br>・アライグマ捕獲カゴの貸し出し | ・猟友会に委託し、イノシシ狩猟を実施<br>・アライグマ捕獲カゴの貸し出し |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策　農林業の振興

| 事務事業名 | 農道舗装及び用水路整備事業(継続) | | 担当部署名 | 地域振興課 |
|---|---|---|---|---|
| | 事業No. 04020303 | ※重点施策 | | |
| 第4次総合計画 むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 04観光・産業・地域振興 | 02農林業の振興 | 03遊休農地の解消 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

老朽化などで破損した農道水路を整備するにあたって一部を補助する。

②内容

農道、水路整備に係る原材料費を支給する。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| ― | ― |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村内における農道及び水路の施設を利用する5人以上の受益者団体

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度 実績値 | 26年度 計画 | 27年度 計画 | 28年度 計画 | 目標値合計 (H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 事業実施団体 | 団体 | 10 | 10 | 10 | 10 | 30 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | 0 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・農道等整備の原材料費支給 | ・農道等整備の原材料費支給 | ・農道等整備の原材料費支給 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策　農林業の振興

| 事務事業名 | 森林経営計画事業(継続)<br>事業No. 04020501　※重点施策 | | 担当部署名 | 地域振興課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 04観光・産業・地域振興 | 02農林業の振興 | 05林業基盤の整備 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

森林経営計画に基づく森林整備に対する支援を行うことにより効率的で自足的な森林施業を確保する。

②内容

集約化に必要な所有者や境界の確認、各種調査等の経費を支援する。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| ― | ― |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村内森林経営計画作成者

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 森林経営計画作成支援 | 団体 | 1 | 1 | 1 | | 2 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 1,350 | 4,375 | 1,350 | ― | 5,725 |

| 25年度事業内容 | 26年度事業内容 | 27年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・森林経営計画に基づく森林整備支援 | ・森林経営計画に基づく森林整備支援 | |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策　農林業の振興

| 事務事業名 | 森林環境保全直接支援事業(継続)<br>事業No. 04020601　※重点施策 | | 担当部署名 | 地域振興課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 04観光・産業・地域振興 | 02農林業の振興 | 06間伐などの林地保全 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

林業を将来にわたって保全・再生することにより木材の安定供給体制を確保する。

②内容

切捨、搬出間伐の実施や路網整備を行う。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| ― | ― |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村内森林所有者

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | | | | | | | 0 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | 0 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 2,366 | 2,846 | 2,500 | 2,500 | 7,846 |

| 25年度事業内容 | 26年度事業内容 | 27年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・切捨、搬出間伐の実施や路網整備 | ・切捨、搬出間伐の実施や路網整備 | ・切捨、搬出間伐の実施や路網整備 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策３　商工業の振興

【基本的な考え方】

●関係機関との連携を図りながら融資制度や経営改善指導体制の充実を図ります。

●大森地区をはじめ、企業誘致を推進するため環境を整備するとともに、起業支援、自然環境や農林業と連携した観光・交流型ビジネスによる企業誘致にも努めます。

●関係機関と連携を図りながら、消費者に対する正しい知識の普及や消費者教育の充実に努めるとともに、消費者相談業務を富田林市など４市町村で共同実施します。

【個別事業計画】

**基本施策　商工業の振興**

| 事務事業名 | 企業誘致事業(継続)<br>事業No. 04030201　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 地域振興課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 04観光・産業・地域振興 | 03商工業の振興 | 02企業等の誘致 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

企業誘致により地域経済の活性化及び雇用の確保などを促進する。

②内容

大森地区における企業誘致など企業が進出しやすい環境整備を進める。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

企業

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 企業誘致 | 社 | — | 1 | | | 1 |
| ② | 目標指標 | | | — | | | | 0 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | — | — | — | — | 0 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・企業誘致支援策 | ・企業誘致支援策 | ・企業誘致支援策 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策　商工業の振興

| 事務事業名 | 消費者生活相談充実事業(継続)<br>事業No. 04030301　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 地域振興課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 04観光・産業・地域振興 | 03商工業の振興 | 03消費生活情報の提供 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

消費者生活相談業務に対する正しい知識や消費者教育の充実を図ることを目的とする。

②内容

専門的知識を要する消費者相談を近隣市町と連携して実施する。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度<br>実績値 | 26年度<br>計画 | 27年度<br>計画 | 28年度<br>計画 | 目標値合計<br>(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | | | — | | | | 0 |
| ② | 目標指標 | | | — | | | | 0 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 773 | 434 | 434 | 434 | 1,302 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・相談事業の広域連携 | ・相談事業の広域連携 | ・相談事業の広域連携 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

# 基本柱５　“建設・交通”

～村民の快適な暮らしを育む　むらづくり～

## 基本施策１　生活道路の維持

【基本的な考え方】

●村道整備計画に基づき維持・補修工事を推進します。

●村道に架かる橋梁の損傷状況などを点検、その結果をもとに修繕計画を策定し、維持・修繕工事を推進します。

●村道のカーブミラーやガードレールなどの交通安全施設を整備し、安全な交通環境の維持に努めます。また、見通しの悪い道路には安全運転を促す啓発看板などの設置を進めます。

【個別事業計画】

**基本施策　生活道路の維持**

| 事務事業名 | 村道整備事業(継続)<br>事業No. 05010101　※重点施策 | | 担当部署名 | 地域振興課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 05建設・交通 | 01生活道路の維持 | 01村道の維持管理 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的
村道の適切な維持管理を行う。

②内容
村道整備計画に基づき維持、修繕工事を行う。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| ― | ― |

＜対象(誰を対象とするのか)＞
村民

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 道路維持補修(舗装) | m | 922 | 750 | 800 | 800 | 2,350 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 29,000 | 28,000 | 25,000 | 25,000 | 78,000 |

| 25年度事業内容 | 26年度事業内容 | 27年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・村道の維持補修 | ・村道の維持補修 | ・村道の維持補修 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

### 基本施策　生活道路の維持

| 事務事業名 | 橋梁整備事業(継続)<br>事業No. 05010201　※重点施策 | | 担当部署名 | 地域振興課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 05建設・交通 | 01生活道路の維持 | 02橋梁の維持管理 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

村道に架かる橋梁の適切な維持管理を行う。

②内容

橋梁長寿命化修繕計画に基づき維持、修繕工事を行う。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 橋梁修繕数 | 橋 | — | — | 2 | 3 | 5 |
| ② | 目標指標 | 修繕設計 | 式 | | 1 | 1 | — | 2 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | — | 1,200 | 23,000 | 16,000 | 40,200 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・橋梁の修繕設計 | ・橋梁の修繕<br>・橋梁の修繕設計 | ・橋梁の修繕 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策２　広域道路交通網の充実

【基本的な考え方】

●国道３０９号河南赤阪バイパスの早期完成など広域幹線道路網の整備を国・府に要望し、通勤・通学、来訪者などの利便性の向上やアクセス強化を進めます。

## 基本施策３　公共交通の充実

【基本的な考え方】

●超高齢化社会の中、今後、高齢者などの移動手段の確保が重要であり、新たな地域公共交通システムや既存の交通体系の連携改善により、村に適した交通体系を総合的に検討します。

【個別事業計画】

**基本施策　公共交通の充実**

| 事務事業名 | 買い物弱者対策と地域公共交通のあり方調査研究(継続)<br>事業No. 05030101　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 地域振興課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | (細施策) | |
| | 05建設・交通 | 03公共交通の充実 | 01地域公共交通システムの構築 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

買い物弱者(高齢者等)への支援策と地域公共交通との連携のあり方などを調査研究し、本村域に買い物弱者の解消と対応策を図る。

②内容

買い物弱者への支援と地域公共交通のあり方について、現状の把握や分析、対応策などを調査研究する。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 調査研究会 | 回 | — | 5 | — | — | 5 |
| ② | 目標指標 | 社会実験 | 回 | — | — | 1 | — | 1 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | — | 1,032 | — | — | 1,032 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・調査研究・まとめ | ・社会実験の実施 | |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策４　住環境の維持

【基本的な考え方】

●地域の特性を生かした村民によるむらづくりを推進するとともに、適切な土地利用の誘導に努めます。

●村独自の美しいまちなみを保持するため、景観に配慮したまちづくりに努めます。

【個別事業計画】

## 基本施策　住環境の維持

| 事務事業名 | 定住促進に関する調査研究(継続) | | | 担当部署名 | 総務課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 事業No. | 05040101 | ※重点施策 ★ | | |
| 第4次総合計画 むらづくり体系 | （基本柱） | （基本施策） | | （細施策） | |
| | 05建設・交通 | 04住環境の維持 | | 01美しいまちなみづくり | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

人口減少に歯止めをかける様々な方策を検討し、人口の維持に努める。

②内容

定住促進事業の調査研究を行う。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象（誰を対象とするのか）＞

村民

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度 実績値 | 26年度 計画 | 27年度 計画 | 28年度 計画 | 目標値合計 (H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 調査研究会 | 回 | 12 | 12 | 12 | 12 | 36 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | — | — | — | — | 0 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・調査研究 | ・調査研究まとめ | ・定住促進策の実施 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

# 基本柱６　“協働・行政経営”

～村民と行政がともに育む　むらづくり～

## 基本施策１　協働によるむらづくり

【基本的な考え方】

●各種計画策定などの際に設置される審議会・委員会などへの住民参画の拡充、村民へのむらづくりへの意識啓発など、参画型むらづくりへの機会拡大を図ります。

●行政の説明責任の向上を図るため、広報紙やホームページなどの各種媒体を活用した行政情報の積極的な発信に努め、公平・透明な行政運営を推進します。

●村民と行政とのパートナーシップを発揮するために協働型社会のシステムの構築に努めます。

●むらづくりの推進を図るため、村民から提案されたむらづくり事業に対し、活動費の一部を助成します。

【個別事業計画】

**基本施策　協働によるむらづくり**

| 事務事業名 | 住民協働提案型むらづくり事業（継続）<br>事業No. 06020201　※重点施策 ★ | | 担当部署名 | 総務課 |
|---|---|---|---|---|
| 第4次総合計画<br>むらづくり体系 | （基本柱） | （基本施策） | （細施策） | |
| | 06協働・行政経営 | 02コミュニティ活動の推進 | 02地域活動の支援の充実 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

むらづくりの推進を図るため、村民と行政とのパートナーシップを発揮できる協働型社会のシステムの構築をめざす。

②内容

村民活動及びむらづくりの推進を図るため、村民団体が自主的、主体的に企画し、実施する公益性のあるむらづくり事業に対し補助金を交付する。
・村設定テーマ提案事業
・村民自由提案事業

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| ● | ○ |

＜対象（誰を対象とするのか）＞

村民等・提案団体

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 協働事業数 | 事業 | 6 | 5 | 5 | 5 | 15 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | |
| 事業費（計画額） | | | 千円 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・協働事業の支援 | ・協働事業の支援 | ・協働事業の支援 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策２　コミュニティ活動の推進

【基本的な考え方】

●村民の手によるむらづくりを目標に展開されるコミュニティ活動に対し、場所や機材の提供をはじめ、地域活動への支援を進めます。

## 基本施策３　人権教育・意識啓発の推進

【基本的な考え方】

●基本的人権については、学校・職場・地域社会などで人権に関する教育・啓発活動の充実により、基本的人権が尊重されるむらづくりを進めます。

●男女共同参画については、個人・企業・行政などのそれぞれの場において男女平等意識を啓発するとともに、男女共に社会の中で責任を担い、自らの能力や個性などを発揮できる環境整備に努めます。

●様々な社会活動の場において女性の参画の促進、また、女性問題に対する相談体制や情報提供の充実により、女性の社会進出支援に努めます。

## 基本施策４　健全な行財政運営

【基本的な考え方】

●財政基盤を強化するため、村税等の徴収率向上を図るなど自主財源の確保により、健全な財政の運営を進めます。

●従来の行政が行う村民へのサービス提供の役割を分担し協働によるむらづくりを進めるため、新たな視点による施策や事務事業の見直し、事務の効率化、組織体制の改革により、行財政改革を推進します。

●少数精鋭による職員定数の管理に努めるとともに、簡素で効率的な組織機構を構築します。また、効率的な行財政運営を図るため、一部行政サービスの外部委託や民間活力の導入の検討を進めます。また、災害発生などに対し、迅速かつ的確に対応ができる庁内体制の整備を図ります。

●職員の資質と能力の向上を図るため、職員研修の充実などによる人材育成に取り組むとともに適正な人事評価制度を構築し、能力・実績を重視した人事管理を推進します。

●財政計画とマネジメントサイクルとの整合性を図り、歳入を基軸とした予算編成に努めます。また、自主財源の確保や財源の重点的かつ効率的な活用により、財政の健全化を図ります。

## 基本施策５　事務事業評価制度の構築

【基本的な考え方】

●施策や事業などを評価するシステムとして事務事業評価を実施します。

●限られた財源を活用して実施する各種施策は、その目標のもとに着実に実行される必要があることから、庁内体制による進行管理に加え、村民参画による外部評価の実施により適正な進行管理を進めます。

【個別事業計画】

### 基本施策　事務事業評価制度の構築

| 事務事業名 | 事務事業評価事業(継続) | | | 担当部署名 | 総務課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 事業No. | 06050101 | ※重点施策 | | |
| 第4次総合計画むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | | (細施策) | |
| | 06協働・行政経営 | 05事務事業評価制度の構築 | | 01事務事業評価制度の構築 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

・第4次総合計画(平成23年度～32年度の10カ年)に基づき実施する各種事業の実施と評価制度の構築により、メリハリのついたむらづくり施策の展開を図る。

②内容

第4次総合計画の基本構想(平成23年度～32年度の10カ年)に基づき、具体的な方策を示した実行計画事業を実行し、評価するため事務事業評価制度を実施する。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民、職員、各種団体

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 事務事業評価数 | 事業 | 120 | 120 | 120 | 120 | 360 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | — | — | — | — | 0 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・PDCAサイクルの実施 | ・PDCAサイクルの実施 | ・PDCAサイクルの実施 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

### 基本施策　事務事業評価制度の構築

| 事務事業名 | 外部評価事業(継続) | | | 担当部署名 | 総務課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 事業No. | 06050201 | ※重点施策 | | |
| 第4次総合計画むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | | (細施策) | |
| | 06協働・行政経営 | 05事務事業評価制度の構築 | | 02外部評価制度の構築 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

・第4次総合計画(平成23年度～32年度の10カ年)に基づき実施する各種事業の実施と評価制度の構築により、メリハリのついたむらづくり施策の展開を図る。

②内容

第4次総合計画の基本構想(平成23年度～32年度の10カ年)に基づき、具体的な方策を示した実行計画事業を推進するため、外部評価制度として第三者による有識者会議を実施する。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| ○ | ● |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民、職員、各種団体

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 外部評価委員会 | 回 | 3 | 5 | 5 | 5 | 15 |
| ② | 目標指標 | 広報・HPによる評価結果公表 | 回 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 198 | 222 | 222 | 222 | 666 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・外部評価委員会の開催<br>・PDCAによる公表 | ・外部評価委員会の開催<br>・PDCAによる公表 | ・外部評価委員会の開催<br>・PDCAによる公表 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策６　行政の広域化の推進

【基本的な考え方】

●地方分権への対応に備えるため、福祉、生活環境、まちづくり、防災など広域的な行政課題について、近隣市町との広域連携による共同処理を推進します。

【個別事業計画】

**基本施策　行政の広域化の推進**

| 事務事業名 | 3市2町1村広域共同処理事業(継続) | | | 担当部署名 | 総務課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 事業No. | 06060101 | ※重点施策 | | |
| 第4次総合計画むらづくり体系 | (基本柱) | (基本施策) | | (細施策) | |
| | 06協働・行政経営 | 06行政の広域化の推進 | | 01広域連携の推進 | |

＜事務事業の目的及び内容＞

①目的

地域主権、地方分権の進展する中、権限移譲事務について、近隣市町との広域連携により効率的・効果的な事務処理を行い住民サービスの利便性の向上を図る。

②内容

大阪府から市町村への権限移譲事務の富田林市、河内長野市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村の3市2町1村で広域連携処理を実施し、既存事務についても広域連携処理の検討を進める。

※協働体制

| 村民 | 行政 |
|---|---|
| — | — |

＜対象(誰を対象とするのか)＞

村民等

＜目標指標、事業費（計画額）及び年度別事業内容＞

| 番号 | 指標区分 | 指標名称 | 単位 | 25年度実績値 | 26年度計画 | 27年度計画 | 28年度計画 | 目標値合計(H26～28) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 目標指標 | 広域検討会議の開催 | 回 | 24 | 24 | 24 | 24 | 72 |
| ② | 目標指標 | | | | | | | |
| 事業費(計画額) | | | 千円 | 5,769 | 5,769 | 5,769 | 5,769 | 17,307 |

| 26年度事業内容 | 27年度事業内容 | 28年度事業内容 |
|---|---|---|
| ・3市2町1村広域連携共同処理運営<br>・南河内広域連携研究会の開催 | ・3市2町1村広域連携共同処理運営<br>・南河内広域連携研究会の開催 | ・3市2町1村広域連携共同処理運営<br>・南河内広域連携研究会の開催 |

※事務事業名のうち「★」は重点施策関連事業。　※協働体制は「●」は主体、「○」は支援・連携。

## 基本施策７　情報ネットワークの整備

【基本的な考え方】

- ●情報ネットワークについては、コンピューターネットワークなどを通して住民や村外との交流拡大により、庁内ネットワークシステムなどの整備を図ります。
- ●行政内部に専門知識を有し技術的な問題に対処できる人材の育成により、情報化に対応できる人材育成を進めます。
- ●情報通信基盤を活用し、行政から住民への情報発信を充実し、行政情報を入手できる環境整備の推進により、高度情報通信基盤の整備を図り行政情報の発信を行います。
- ●保健・医療・福祉、生涯学習、防災などの情報ネットワークの整備により、住民生活を支援する情報ネットワークシステムの整備を図ります。
- ●電算における自治体間クラウドなどの検討を進めます。

３．実行計画事業費（計画額）一覧（平成 26 年度～平成 28 年度）

（単位：千円）

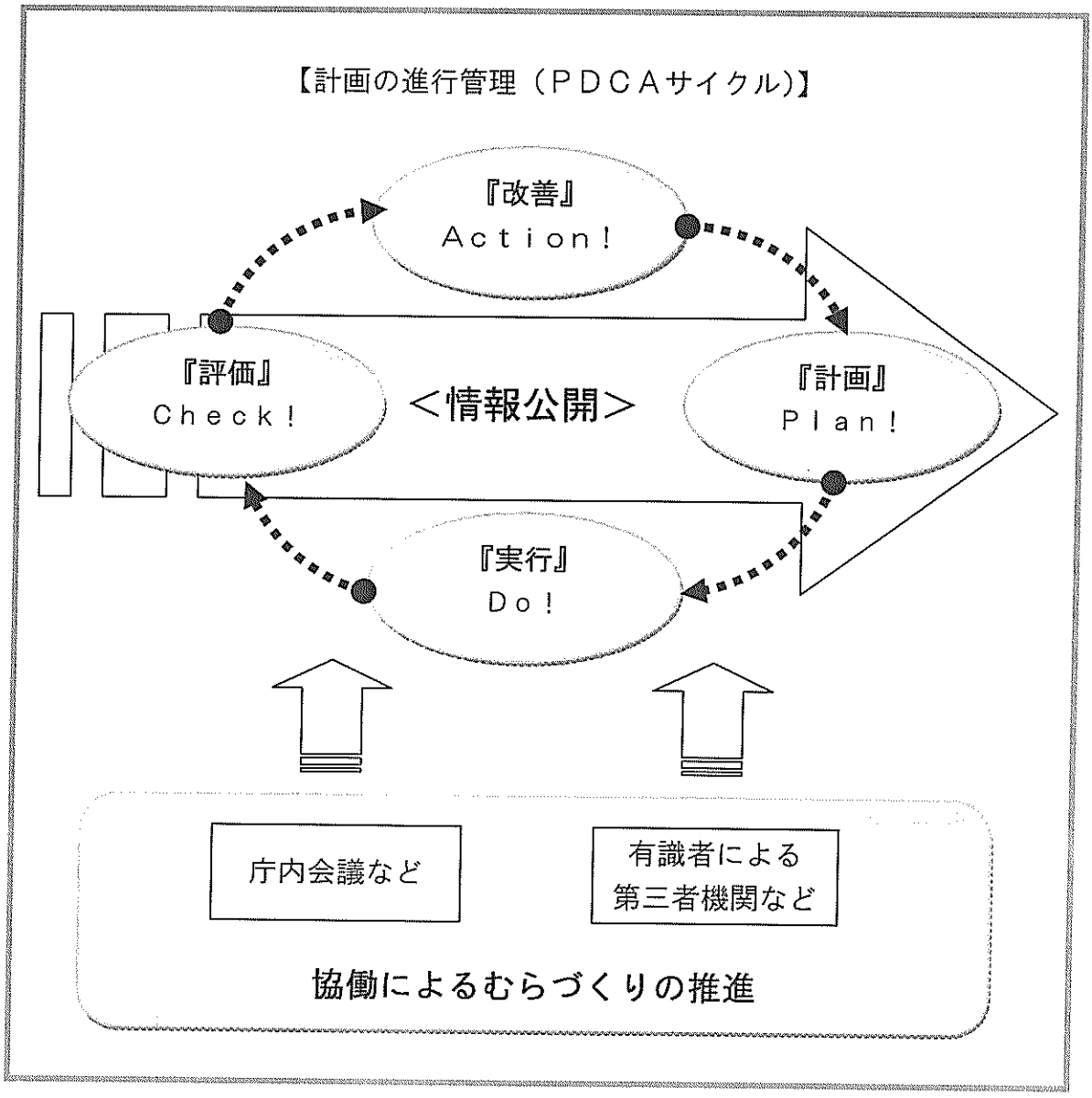
| 基本柱 | | ３か年事業費 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 基本柱１ | 安全・安心・環境 | 506,648 | 163,604 | 171,522 | 171,522 |
| 基本柱２ | 健康・福祉 | 102,861 | 34,287 | 34,287 | 34,287 |
| 基本柱３ | 教育・歴史・伝統 | 457,477 | 152,577 | 152,450 | 152,450 |
| 基本柱４ | 観光・産業・地域振興 | 50,888 | 17,946 | 16,471 | 16,471 |
| 基本柱５ | 建設・交通 | 127,296 | 30,232 | 52,032 | 45,032 |
| 基本柱６ | 協働・行政経営 | 20,973 | 6,991 | 6,991 | 6,991 |
| 合　計 | | 1,266,143 | 405,637 | 433,753 | 426,753 |

# 第４章　計画の進行管理

## １．計画の進行管理

基本構想における基本柱を実現していくため、協働によるまちづくりを基本としながら、情報公開の推進のもと、「ＰＤＣＡサイクル」（Ｐｌａｎ計画→Ｄｏ実行→Ｃｈｅｃｋ評価→Ａｃｔｉｏｎ改善）により各施策の進捗状況とその成果を継続的に評価し、適正な進行管理を進めます。

## ２．推進体制



千早赤阪村総務課
〒585-8501 大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分 180 番地
TEL 0721-72-0081（代表）
URL　http://www.vill.chihayaakasaka.osaka.jp/